

Greater Tokyo Biocommunity



令和5年10月

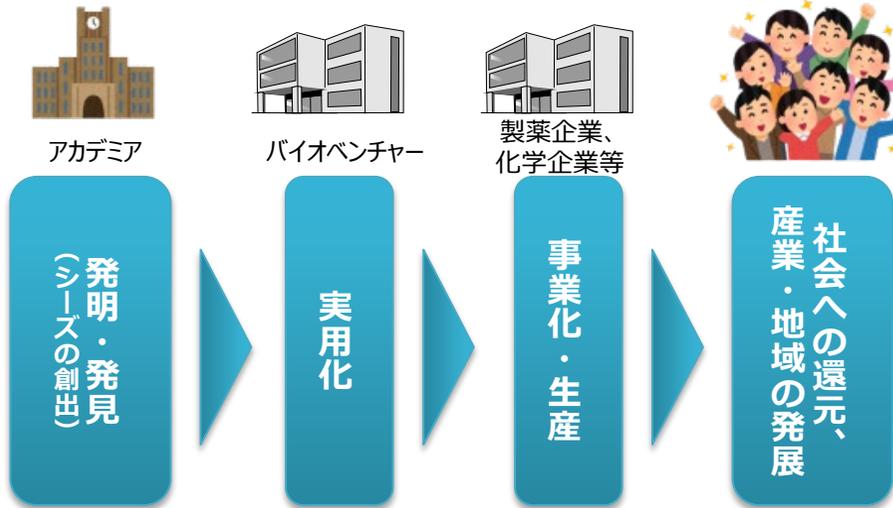
一般財団法人バイオインダストリー協会

GTBの目標と手法

目標

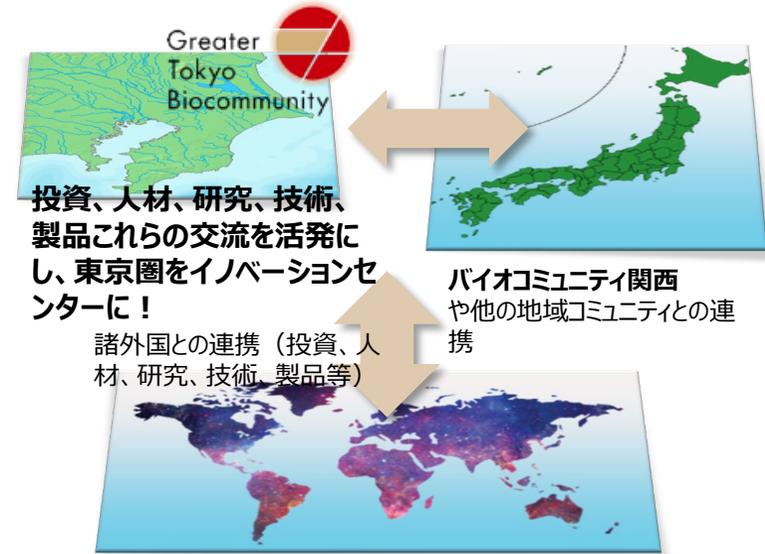
東京圏を世界最高峰のイノベーションセンターにすることにより「2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現」の達成に貢献する

バリュー
チェーン

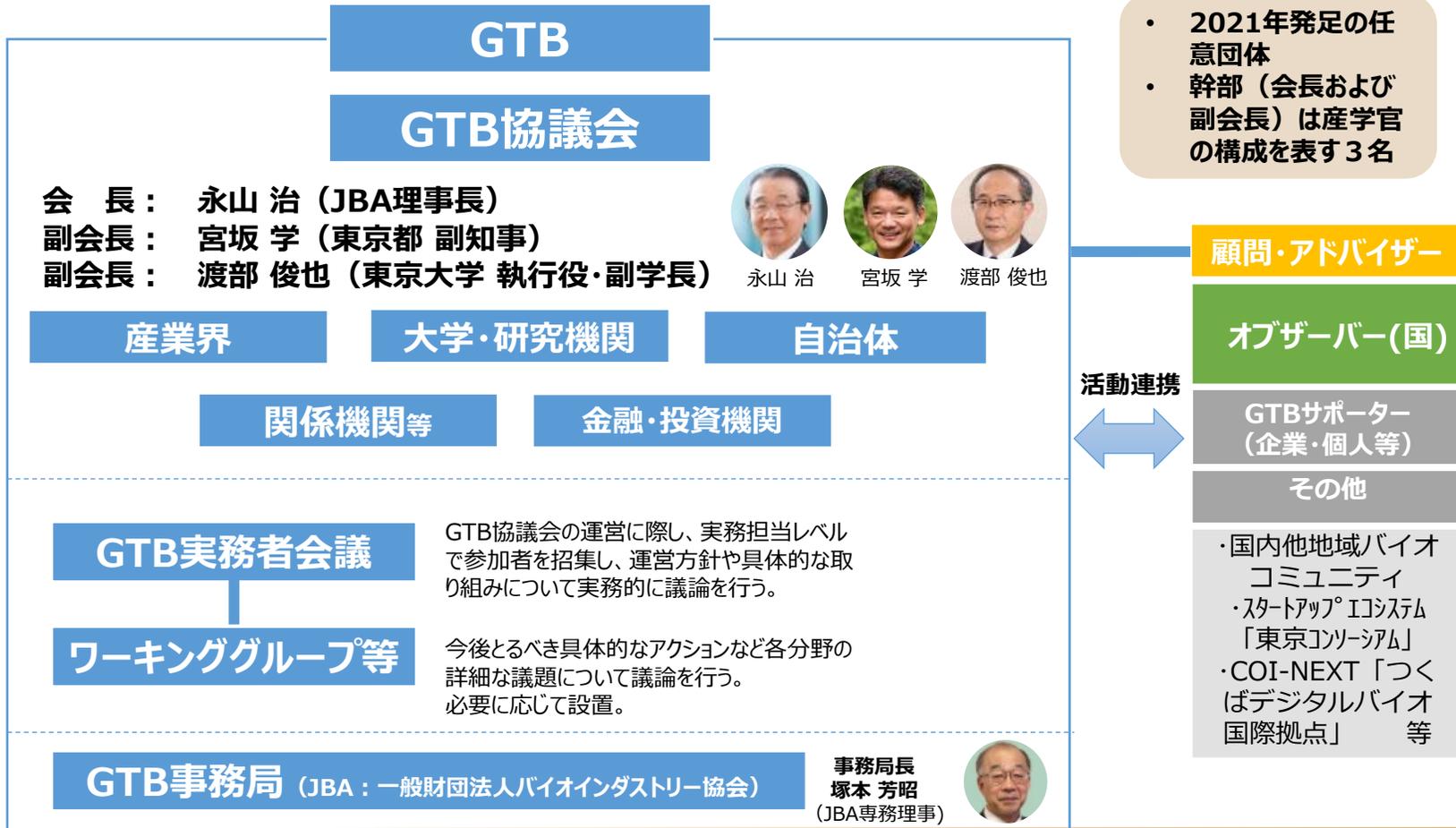


手法

- 共同研究形成促進
 - ベンチャー育成促進
 - 生産設備投資促進
- 基盤の強化 (ネットワーク、人材、バイオイノベーション推進拠点整備等)
- 国際認知度向上、海外からの投資拡大



2022年4月、GTBは内閣府より「グローバルバイオコミュニティ認定」を受けました



GTB 協議会 委員

※2023/8/10時点



全47名

オブザーバー参加機関

- ・ (公財) 東京都医学総合研究所
- ・ (国研) 海洋研究開発機構
- ・ (公財) がん研究会

会長：永山 治 (JBA理事長)



自治体：副知事、副市長クラス

副会長：1. 宮坂 学 (東京都 副知事)

2. 首藤 健治 (神奈川県 副知事)
3. 黒野 嘉之 (千葉県 副知事)
4. 堀光 敦史 (埼玉県 副知事)
5. 大竹 真貴 (茨城県 産業戦略部長)
6. 城 博俊 (横浜市 副市長)
7. 加藤 順一 (川崎市 副市長)
8. 松本 玲子 (つくば市 副市長)

大学・研究所：副学長、理事クラス

副会長：9. 渡部 俊也 (東京大学 執行役・副学長 未来ビジョン研究センター 教授 (副センター長))

10. 林 宣宏 (東京工業大学 副学長(国際連携))
11. 金保 安則 (筑波大学 副学長(産学連携))
12. 天谷 雅行 (慶應義塾大学 常任理事(研究(主管)、他))
13. 若尾 真治 (早稲田大学 理事)
14. 樋上 賀一 (東京理科大学 常務理事)
15. 東條 有伸 (東京医科歯科大学 理事・副学長(理事・副学長(官学連携・教員人事担当)))
16. 石川 義弘 (横浜市立大学 学長補佐、研究・産学連携推進センター長)
17. 藤江 幸一 (千葉大学 理事(研究担当))
18. 四方 順司 (横浜国立大学 副学長/研究推進機構長)
19. 宮園 浩平 (理化学研究所 理事)
20. 田村 具博 (産業技術総合研究所 生命工学領域長)
21. 紺野 貴史 (製品評価技術基盤機構 理事)
22. 門脇 光一 (農業・食品産業技術総合研究機構 理事(研究推進担当 II))
23. 間野 博行 (国立がん研究センター理事(研究・国際・がん対策担当)、国立がん研究センター研究所長)
24. 田畑 哲之 (かずさDNA研究所 副理事長兼所長)

バイオ関係団体：会長・理事長クラス

25. 永山 治 (バイオインダストリー協会 理事長)
26. 永山 治 (日本バイオ産業人会議 世話人代表)
27. 浅島 誠 (つくばライフサイエンス推進協議会 会長)
28. 土井 俊彦 (柏の葉ライフサイエンス協議会)
29. 岡野 栄之 (LINK-J 理事長)
30. 堺 美夫 (Tokyo Marunouchi Innovation Platform 代表)
31. 吉澤 尚 (ライフサイエンスインキュベーション協議会 所長)
32. 三浦 淳 (川崎市産業振興財団 理事長)
33. 大野 泰雄 (木原記念横浜生命科学振興財団 理事長)
34. 藤本 利夫 (アイパークインスティテュート 代表取締役社長)
35. 大石 道夫 (千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議 会長)
36. 上野 裕明 (日本製薬工業協会 会長)
37. 志鷹 義嗣 (再生医療イノベーションフォーラム 会長)
38. 山田 英 (日本バイオテック協議会 会長)
39. 石川 文保 (農林水産・食品産業技術振興協会 会長)
40. 澤田 拓子 (バイオコミュニティ関西 委員長)

産業支援機関：理事クラス

41. 三浦 明 (日本医療研究開発機構(AMED) 理事)
42. 西村 知泰 (新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 理事)
43. 森本 茂雄 (科学技術振興機構(JST) 理事)
44. 平泉 洋 (中小企業基盤整備機構 理事)
45. 中澤 克典 (日本貿易振興機構(ジェトロ) 理事)

金融・投資機関：取締役・執行役員クラス

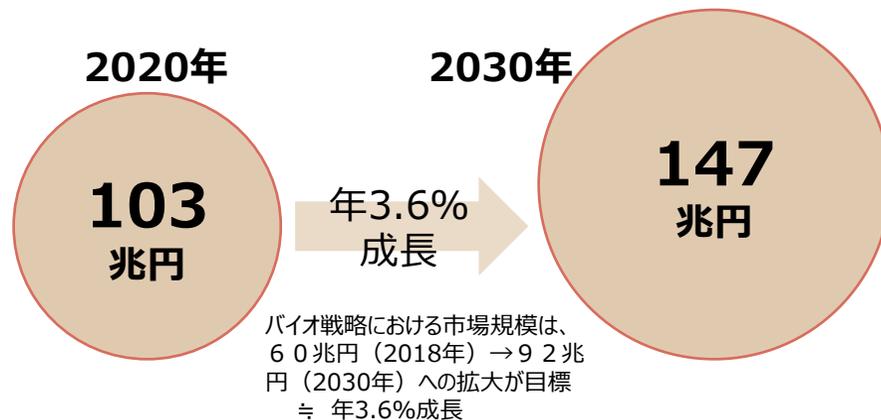
46. 野澤 昌史 (日本政策投資銀行 企業金融第6部 課長兼ヘルスケア室長)
47. 丹下 智広 (JICベンチャー・グロス・インベストメンツ 取締役CIO)

オブザーバー 中央省庁：課長クラス

- I. 佐藤 大輔 (内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 企画官)
- II. 笠松 淳也 (内閣府 健康・医療戦略推進事務局 参事官)
- III. 奥 篤史 (文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課長)
- IV. 安藤 公一 (厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課長)
- V. 羽子田 知子 (農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課長)
- VI. 下田 裕和 (経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業課長)
- VII. 塚田 源一郎 (環境省 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室 室長)

成長指標の可視化と管理（2022年、活動マスタープランより）

最上位のKPI（東京圏の企業の売上高）



バイオ関連5団体*の加盟企業（上場および非上場）の売上高合計

= 東京圏103兆円（2020年）
（参考：全国156兆円）

*）バイオインダストリー協会，再生医療イノベーションフォーラム，日本製薬工業協会，農林水産・食品産業技術振興協会，日本バイオテック協議会
売上高：各社の直近の通期決算情報に基づく（2022年1月末時点）

以下の項目については、引き続き指標化可能性を検討する

- ・ 雇用者数
- ・ 企業（全体、バイオベンチャー）の株式時価総額

サブKPI

新規大型共同研究の形成件数
年5～10件（2030年）

バイオベンチャーへの投資額
推定330億円（東京圏）/年
→ **3,500億円/年（2030年）**

うち、**海外からバイオベンチャーへの投資額**
推定20～30億円/年
→ **1,700億円/年（2030年、**
上記投資額の半分を海外から）

スタートアップエコシステムランキング
（ライフサイエンス分野）
25位（2021年）
→ **5位以内（2030年）**

最上位のKPI （東京圏の企業の売上高）

バイオ関連5団体#)の加盟企業（上場および非上場）の売上高合計

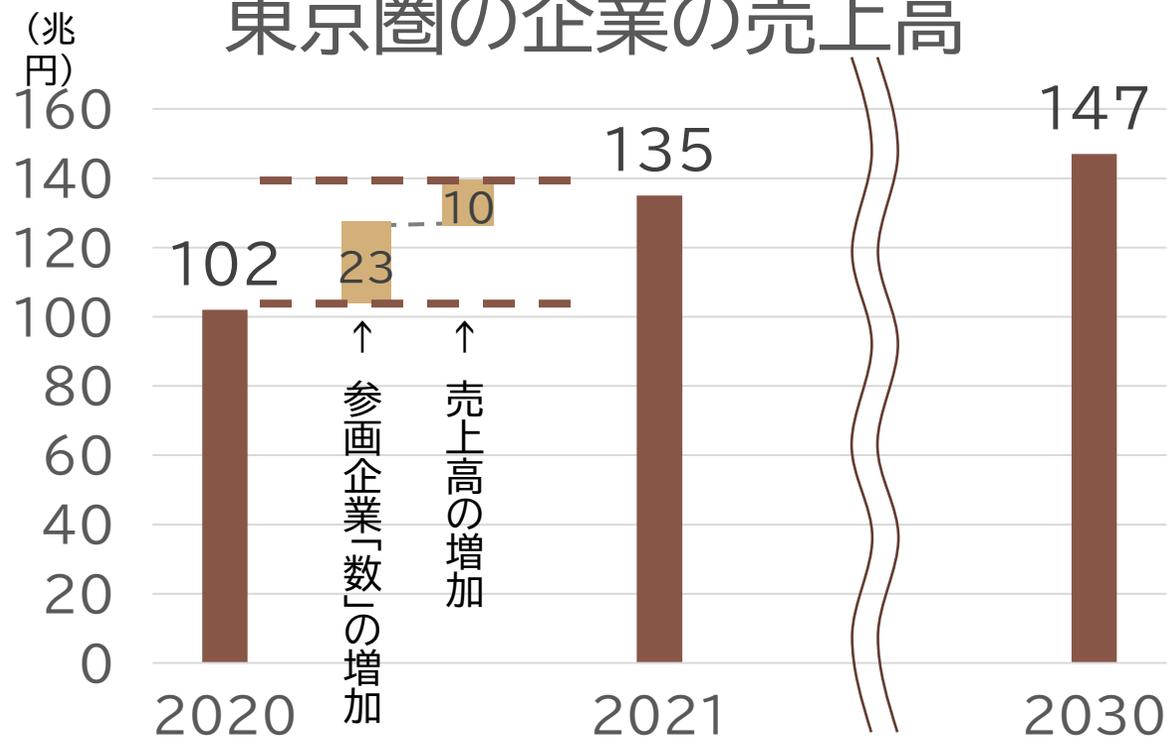
#) バイオインダストリー協会, 再生医療イノベーションフォーラム, 日本製薬工業協会, 農林水産・食品産業技術振興協会, 日本バイオテック協議会
売上高：各社の2021年度の通期決算情報に基づく

新規参画企業と売上高

企業名	年間売上高*
NECソリューションイノベータ(株)	325,043
(株)荏原製作所	603,213
ソニーグループ(株)	9,921,513
(株)ファンケル	103,992
三菱商事(株)	17,264,828
(株)理研数理	60

*百万円

東京圏の企業の売上高



出典：JBA集計(2022年)

KPIの進捗（サブKPI）

バイオベンチャーへの投資額

推定330億円（東京圏）／年
→ 3,500億円／年（2030年）

うち、海外からバイオベンチャーへの投資額

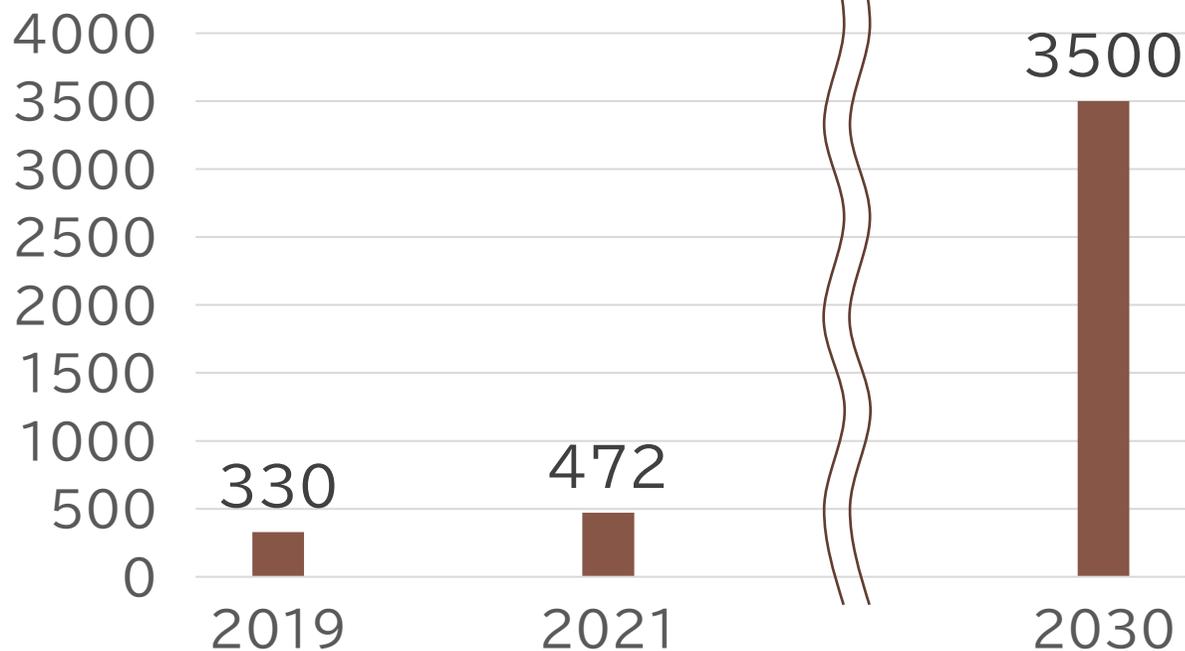
推定20～30億円／年
→ 1,700億円／年（2030年、
上記投資額の半分を海外から）

（算定の課題）

2019年、2021年の数字はVCからの投資額なので、**投資活動の一部しか見ていない**ことになる。

今後、海外のデータも改めて分析し、極力同じ定義になるようにしたい。

（億円） VCによるバイオベンチャー投資額（東京圏）



出典：『ベンチャー白書2022』（VEC、2022年）をもとにJBA集計（2023年）

GTBバイオイノベーション推進拠点

5. 川崎エリア

羽田空港直結のキングスカイフロントなど、研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション都市



3. HOTS HILL

(本郷・御茶ノ水・東京駅エリア)
東大、東京医歯大等、GTB域最大のアカデミア集積地



TIP開設プレスリリースより

4. 日本橋エリア

バイオ・製薬産業が集まる国際的ライフサイエンスビジネス拠点と、研究・臨床・情報開発連携機能の集積



LINK-J HPより

1. つくばエリア

筑波大学および多様な国研および企業研究機関等の集積をいかした我が国最大の世界的サイエンスシティ



筑波研究学園都市パンフレットより

6. 横浜エリア

産学官金が連携し、健康・医療分野のイノベーションを持続的に創出するグローバル拠点都市



7. 湘南エリア

世界最大級のライフサイエンス研究施設を核に、隣接病院や周辺地域とも連携する、製薬企業発の産官学医オープンイノベーション拠点



湘南ヘルスイノベーションパーク

2. 柏の葉エリア

新産業創造、健康長寿、環境共生を軸とする国際イノベーションキャンパスタウン



柏の葉スマートシティ HPより

8. 千葉・かずさエリア

植物・免疫医療等の最先端ゲノム研究及びバイオものづくり等の研究推進拠点



かずさDNA研究所

千葉大学

【注1】 これら以外に、新宿・信濃町、早稲田、築地・台場、所沢、和光などにも萌芽がみられる

【注2】 今後各拠点の発展に伴い、統合・再編成の可能性がある

バイオイノベーション推進8拠点の2023年度活動・整備計画 (2023/03/03時点)



つくば

- ・「つくば型デジタルバイオエコミー社会形成の国際拠点」として、大学、各国立研究機関等とのさらなる連携推進、デジタル/データの共有・利用のための仕組みづくり、試料とデジタルの両方に対応できるスキルを持つ人材の育成、バイオ製造実証機能の強化
- ・「食の先端技術共創コンソーシアム」として、ゲノム編集技術等を用いた食に係るイノベーションの創出、日本のレギュレーションスタンダードをアジア・世界へ展開
- ・つくば国際戦略総合特区のメリットをさらに活かす取組

柏の葉

- ・柏市/国がん/産総研/千葉大/東大が参画する組織（柏の葉ライフサイエンス協議会）が活動開始
- ・エリア内外の機関・企業が連携し、シーズの社会実装や課題解決を支援
- ・バイオ・ライフサイエンス領域の地域内アセットを情報集約HP/イベント等を通じて対外発信
- ・イベント等を通じてエリア内コミュニティを形成
- ・つくば、東京への好アクセスを活かして他拠点と連携推進
- ・各機関の先進的なプロジェクトを推進(ゲノム教育・再生医療等)

HILLS

- ・ウエットラボが設置可能なインキュベーション施設の増設
- ・域内活動を共にする会員制組織の設立とアクションプランの策定
- ・米国の産学連携団体との連携や海外企業との協創案件の創出
- ・司令塔としての機能を有する「Life Sciences Center」構想の検討

日本橋

- ・国内外への発信力を強化するため、「日本橋エリアのプレーヤーおよび取り組み紹介冊子」を作成する
- ・東京都とLINK J/CIC/MRI の協業により、スタートアップエコシステムである「ブロックバスター東京」を3年計画で実施。「キャリアフォーラム」の開催や「海外へのベンチャー企業派遣」等を行う
- ・湾岸エリアにおけるウエットラボ（インキュベーション施設含む）を拡充する

川崎

- ・羽田地区や国内外の他クラスターと連携したイベントの開催等、域内外の交流・連携促進及び情報発信力の強化
- ・研究・事業活動の活性化支援
- ・インキュベーション機能の拡充による高度人材の育成と呼び込み
⇒BioLabs社との連携推進によるスタートアップの成長支援

横浜

- ・企業、大学、研究機関等の連携のさらなる推進
- ・BioJapanを通じた国内外との連携
- ・研究開発への助成、マッチング支援、海外連携機関と連携した海外展開支援
- ・デジタルヘルスケア分野の支援の強化
- ・スタートアップ成長支援拠点「YOXO BOX」を中核としたスタートアップ・起業家の創出と成長段階に応じた支援
- ・企業・大学等と連携したイノベーション人材の育成

湘南

- ・次世代治療研究開発拠点の実現
CPC、CDMOなど支援設備・体制の整備と誘致、賛同者の勉強会
湘南鎌倉総合病院との連携による橋渡し研究の開始（個別→体制）
人材エコシステム構築による高質の人材育成機能の開始
- ・次世代ヘルスケアのヘルスイノベーション拠点構想の実現
ヘルスケアMaaS 2023 学術シンポ、市民フォーラム、実証実験の実施

かずさ・千葉

- ・千葉大学やかずさDNA 研究所を中核とした大学・他の研究機関との各バイオ関連研究や社会実装の取組の更なる推進
- ・千葉大学をはじめとする大学と他機関との連携によるスタートアップ支援の更なる推進
- ・千葉大学による地域・産学官公金の社会実装に繋げる連携の推進
- ・千葉大学による地域・他機関と連携したアントレプレナーシップ教育の推進
- ・かずさDNA 研究所による生物学分野等における将来の産業活用を見据えた新たなシーズを研究する組織の立ち上げ
- ・かずさDNA 研究所による県内外の中学・高校への出前講座、SSH指定校への理科教育支援等の実施
- ・千葉県における医工連携に関するセミナーや臨床ニーズマッチング会、展示会への出展及び製品開発のための補助金事業や専門家派遣等の実施

主な活動実績(令和4年6月～令和5年9月)と今後の方向性①

(1) 研究開発から社会実装までの円滑化

(1-1) 先端的な共同研究の形成促進(現行のGTBと関連するプロジェクト含む)

【実施状況・現状分析】

- 本期間に、21のGTB連携の研究開発プロジェクト(JST、NEDO、AMED等)が活動。(別添1, P15)
- 5年9月、JBAとGTB事務局共同でセミナーを実施し、COI-NEXTの3つのプロジェクトの周知活動と、プロジェクト間データ連携のディスカッションを実施。
- 4年9月、UNITTカンファレンスにてGTBメンバーが登壇するセッションを設置。産学連携やコミュニティ形成の課題等のディスカッションを実施。



講師陣とGTB事務局

【今後の取組方針】

- BioJapan、ヘルスケアベンチャーサミット等を活用したビジネスマッチングの実施
- 分野別ビジネスマッチングの実施
- 個々の協議会メンバーによる草の根的ビジネスマッチングの実施
- 国家プロジェクト間の連携促進の継続実施

(1-2) ベンチャー育成の促進、VCの活性化

【実施状況・現状分析】

- 本期間、経済産業省(AMED)の創薬ベンチャー支援約3,500億円の制度が開始、ベンチャー投資が開始された。(全5件中、3社がGTB圏内)
- 4年7月、JBA(GTB)と近畿バイオインダストリー振興会議(BioCK)の共同による「バイオベンチャーデータベース」の運用開始。(別添2, P21)
- 4年8月(日本語版)と11月(英語版)、GTB圏内のインキュベーション施設のリストを作成し、ウェブに公開。(別添3, P23)
- 5年7月、GTB圏内のアクセラレーション活動をリスト化。(別添4, P17)
- 4年10月、GTB勉強会「FROM JAPAN TO THE WORLD, VALUE CREATION THROUGH BIOTECH STARTUPS」を開催し、米国VCのARCH社を交えて、日本のバイオベンチャー投資について議論。

【今後の取組方針】

- 域内の起業家育成やベンチャー支援活動の効果の最大化(例)バイオベンチャーデータベース掲載企業(現状240社)を倍増
- バイオイノベーション推進8拠点、産業支援機関等の取り組みの有効化
- 政府の創薬ベンチャー育成策(500億円+3,000億円)の利用加速
- 国内外VCとの活動連携の推進
- BioJapan、ヘルスケアベンチャーサミット等を活用したビジネスマッチング実施

主な活動実績(令和4年6月～令和5年9月)と今後の方向性②

(1-3) 生産設備の投資促進、金融支援

【実施状況・現状分析】

- 本期間に、国のワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業等、12か所が選定。(別添5, P19)
- 5年8月、日本進出(工場立地)に関心を持つ外国企業A社にGTB圏内の特徴を説明。
- 5年9月、企業の設備投資の参考資料とすべく、GTB圏の「規模ファクト資料」を作成、ウェブに公開。

【今後の取組方針】

- 政府のバイオ医薬・ワクチンデュアルユース生産設備導入促進策(2,300億円+1,000億円)のGTB域内での利用加速。
- バイオものづくり(NEDO)の活動の利用促進。
- バイオ医薬・ワクチンデュアルユース生産を支える人材の育成策の検討。
- 日本への工場立地に関心をもつ海外企業への、GTB圏の説明。

(1-4) 基盤の強化(ネットワーク形成促進、人材育成・活用促進、推進拠点の整備、規制・制度に関する対策)

【実施状況・現状分析】

- 5年9月、GTB圏の「規模ファクト資料」を作成、ウェブに公開(日・英)。推進拠点の可視化の集大成であり、GTB圏内に関心を呼び込み、各種の投資を促す基礎資料。
- 5年10月、BioJapan 2023開催。約1,450社(前年比17%増)参加見込みによりマッチングを加速。過去最高の面談数、約17,000件(前年比12%増)見込み。
- バイオイノベーション推進拠点(8拠点)における推進体制が進展。(例)5年2月、柏の葉エリアにおいて「柏の葉ライフサイエンス協議会」が発足。5年3月、本郷・御茶ノ水・東京駅エリアにおいて「本郷・御茶ノ水・東京駅エリア協議会(GTB HOTS HILL)」が発足。
- 年2回の実務者会議で拠点間のコミュニケーションを加速 - 5年1月(柏の葉エリア)、7月(湘南エリア)にて開催。
- 4年5月、「GTB発足記念セミナー」を開催。



HOTS HILL発足

【今後の取組方針】

- 情報発信： バイオイノベーション推進8拠点の継続的情報発信(日・英)
- 情報発信： JBA機関誌「B&I」における、GTB、BiocK、認定地域バイオコミュニティの紹介。
- ネットワーク形成活動： 拠点間の連携促進(対面交流促進：実務者会議など)
- 協議会メンバーの人材育成策の相互利用の促進。
- バイオイノベーション推進8拠点ごとの整備計画の具体化と実行予算の確保。
- BioJapanの更なる規模拡大と国際化。

主な活動実績(令和4年6月～令和5年9月)と今後の方向性③

(2) 国際活動

(2-1) イノベーション拠点としての認知度向上

【実施状況・現状分析】

- 以下の国際イベントでGTB活動を紹介
 - ✓ 4年6月、米BIO Int. サンディエゴ
 - ✓ 4年10月、BioJapan 2022
 - ✓ 4年10月、BIO-Europe ドイツ
 - ✓ 5年6月、米BIO Int. ボストン
 - ✓ 5年7月、台湾BIO Asia Taiwan
- 5年7月、Startup Genome「Startup Ecosystem Ranking (Life Science版)」との対話開始。
- 5年9月、GTBの公式ホームページを立ち上げ、日・英の情報発信を本格化。



【今後の取組方針】

- バイオ産業イベントでの海外企業の日本進出・日本企業との提携支援
BIO(6月), BIO-Europe (11月), BioJapan (10月) 等
- バイオ産業イベントを通じた日本のアカデミア・ベンチャーの実力アピール
- Startup Genome「Startup Ecosystem Ranking (Life Science版)」発行元との継続対話、日本の情報提供

(2-2) 海外からの投資拡大、海外への展開支援

【実施状況・現状分析】

- JETROがバイオベンチャーの海外展開を支援
 - ✓ 米BIO Int. サンディエゴ (22社)
 - ✓ BIO-Europe ドイツ (25社)
 - ✓ 米BIO Int. ボストン (34社)
- 米国のインキュベーション機能の誘致に関し議論開始 (5年6月～)



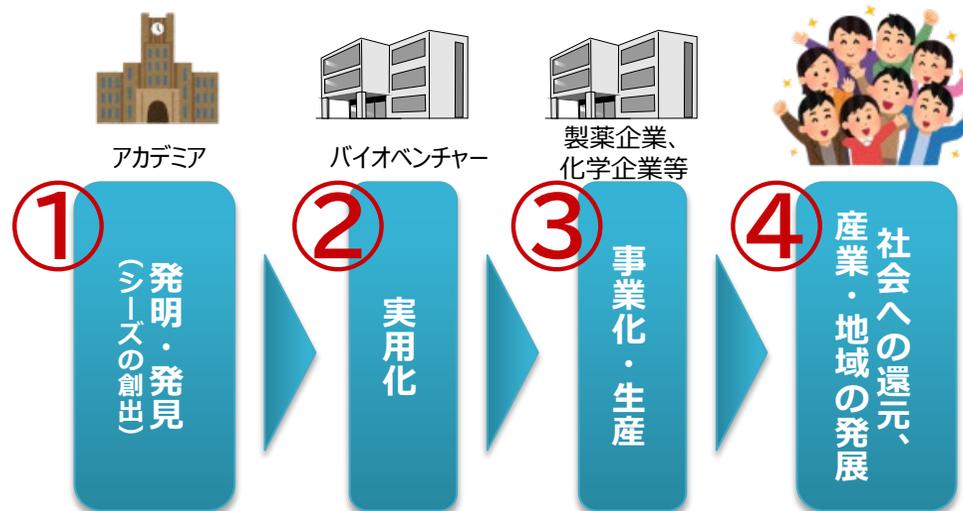
【今後の取組方針】

- 世界のイノベーション拠点開発状況の調査
- ジェトロ等と連携した国内バイオベンチャーの海外進出支援
- アカデミアの国際連携支援
- (継続) 米国のインキュベーション機能の誘致検討

- バイオイノベーション推進拠点(8拠点)におけるエコシステム推進体制を強化した
 - ✓ 拠点ごとの年度計画作成
 - ✓ 2拠点が産学官連携の新協議会を発足
 - ✓ 会議を拠点開催することでコミュニケーション形成 など

- GTB圏内の研究活動やバイオ産業規模を可視化、日・英で発信 (次ページから資料紹介)

- ① 研究開発
- ② インキュベーション
(ハード&ソフト)
ベンチャー支援
- ③ 生産設備
- ④ 民間投資



① 研究開発

21 国プロジェクト

総額 最大約 **1,800** 億円 / 10年(2021-2030)

② インキュベーション
(ハード)

総面積 約 **555,000** m²

③ 生産設備

12製造拠点・本社機能

国の補助金 約 **2,000** 億円

④ 民間投資

総額 > 約 **5,000** 億円 / 約2年
(2021-2023)

① 研究開発 国プロジェクト

(2023.4現在)

21 プロジェクト

総額 最大約1,800億円/10年(2021-2030)

1. つくばエリア

- JST 共創の場形成支援プログラム/バイオ分野・本格型「つくば型デジタルバイオエコノミー社会形成の国際拠点」:筑波大学 等
- AMED 医工連携イノベーション推進事業:つくばグローバルイノベーション推進機構 (TGI) 等
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「バイオものづくり技術によるCO2を原料とした高付加価値化学品の製品化」:積水化学工業

2. 柏の葉エリア

- AMED次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業「革新的次世代核酸医薬」:東京理科大
- 経済産業省 再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業:J-TEC、国立がん研究センター、帝人、三井不動産
- 文部科学省 地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業:千葉大学 等

3. HOTS HILL

- JST 共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「ピوند・ゼロカーボン」を目指す「Co-JUNKAN」プラットフォーム」:東京大学 等
- AMEDワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業:フラッグシップ拠点:東京大学
- 経済産業省 再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業:東京医科歯科大 等

5. 川崎エリア

- JST共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点」:川崎市産業振興財団 等
- NEDO GI基金(バイオものづくり)光合成によるCO2直接利用を基盤とした日本発グローバル産業構築:ちとせ研
- AMEDワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業:サポート機関:実中研
- 経済産業省 再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業:藤田医科大学(東京都大田区)、慶應義塾大学、実験動物中央研究所、(一社)RINK等

6. 横浜エリア

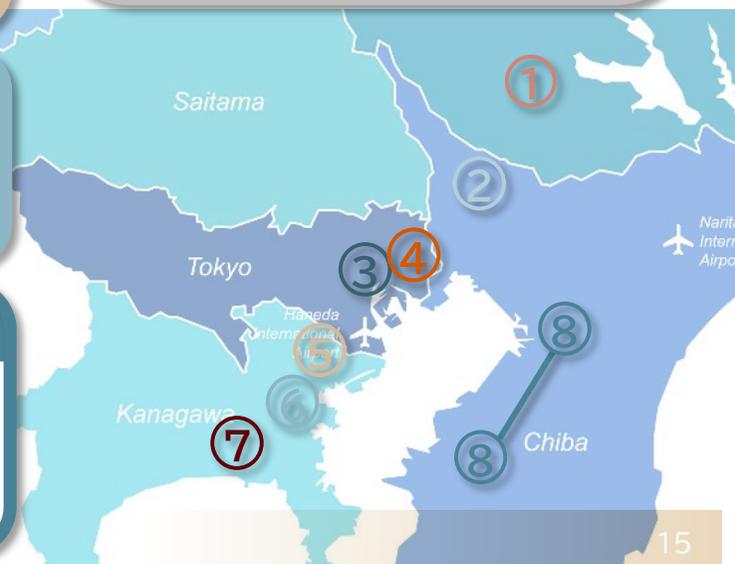
- JST共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「若者の生きづらさを解消し高いウェルビーイングを実現するメタケアシティ共創拠点」:横浜市大

8. 千葉・かずさエリア

- NEDO バイオファウンドリ「生産実証プラットフォーム」:GEI
- AMEDワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業:シナジー拠点:千葉大学
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「CO2固定微生物利活用プラットフォームの構築」:NITE

その他 東京圏

- JST 共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「誰もが参加し繋がることでウェルビーイングを実現する都市型ヘルスコモンズ共創拠点」:慶応義塾大学(新宿区) 等
- JST 共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「カーボンネガティブの限界に挑戦する炭素耕作拠点」:東京農工大(小金井市) 等
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「水素細菌によるCO2とH2を原料とする革新的なものづくり技術の開発」:双日(千代田区)
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「CO2を原料に物質生産できる微生物による製造技術等の開発・実証」:富士フイルム(神奈川県)



② インキュベーション(ハード) インキュベーション施設 (2023.7現在)

総面積 約555,000 m²

1. つくばエリア 13,317 m²

1. (株)つくば研究支援センター(TCI) 11,200
2. つくば創業プラザ Start Up Office 265
3. つくばスタートアップパーク 1,852

2. 柏の葉エリア 49,049 m²

1. 東葛テクノプラザ 11,881
2. 東大柏ベンチャープラザ 2,856
3. 東大柏IIアントレプレナーハブ(産学官民連携棟) 1,825
4. 三井リンクラボ柏の葉1, 10,978
5. 柏の葉オープンイノベーションラボ(KOIL) 9,794
6. KOIL TERRACE 11,715

3. HOTS HILL 8,122 m²

1. TIP (TMDU Innovation Park) 664
2. 東京大学アントレプレナーラボ 3,816
3. 東京大学アントレプレナープラザ 3,642

4. 日本橋エリア 50,234 m²

1. 日本橋ライフサイエンスビルシリーズ(15施設) 18,575
2. 三井リンクラボ新木場1 11,170
3. 三井リンクラボ新木場2 18,240
4. 三井リンクラボ葛西 2,249

5. 川崎エリア 73,403 m²

1. ライフイノベーションセンター(LIC) 16,105
2. 川崎生命科学・環境研究センター(LiSE) 2,000
3. 川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター(iCONM) 239.4
4. Research Gate Building III (RGBIII) 10,000
5. かわさき新産業創造センター(KBIC) 36,959
6. かながわサイエンスパーク(KSP) 7,535
7. Kawasaki-NEDO Innovation Center (K-NIC) 565

6. 横浜エリア 39,128 m²

1. 東工大産学共同研究棟 J3レンタルラボ 1,527
2. 東工大横浜ベンチャープラザ(YVP) 2,795
3. 横浜バイオ産業センター(YBIC) 6,000
4. 横浜新技術創造館(リーディングベンチャープラザ) 5,552
5. 横浜市産学共同研究センター 8,363
6. 横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア 14,891

7. 湘南エリア 300,000 m²

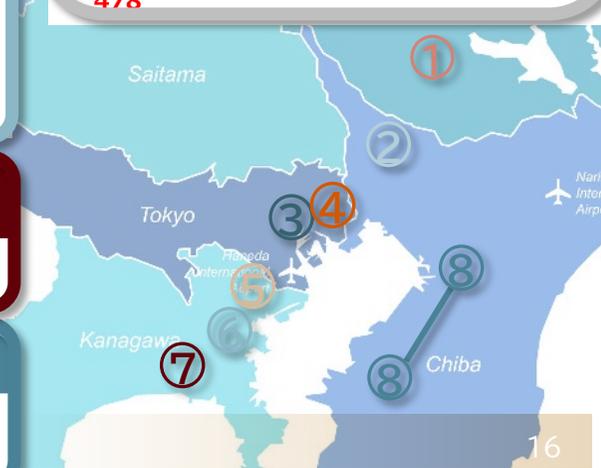
1. 湘南ヘルスイノベーションパーク 300,000

8. 千葉・かずさエリア 4,184 m²

1. かずさいノベーションセンター 1,449
2. 千葉大学亥鼻イノベーションプラザ 2,735

その他 東京圏 18,076 m²

1. 和光理研イノベーションプラザ 2,608
2. 早稲田大学アントレプレナーシップセンター 778
3. 農工大・多摩小金井ベンチャーポート 1,650
4. ベンチャープラザ船橋 2,412
5. さがみはら産業創造センター 2,623
6. 慶應藤沢イノベーションビレッジ 1,470
7. 東京起業推進センターCross Point飯田橋 3,649
8. 東京起業推進センターCross Point市ヶ谷 I 1,703
9. 東京起業推進センターCross Point市ヶ谷 II 347
10. ラムラ飯田橋 227
11. 神楽坂コート 131
12. 東京理科大学神楽坂キャンパス10号館アネックス 478



② インキュベーション(ソフト) アクセラレーション活動 (2023.6現在)

1. つくばエリア

筑波大学 : Research Studio (Stanford やUCSDと連携。領域リーダーによるメンタリングと専門家による伴奏)
TGI : 関東地域における医療機器事業化支援 (POC取得支援、許認可・保険戦略策定支援、事業化戦略策定支援、海外との拠点外連携)
TLSK : ①ピッチ会 (研究プロジェクトの創出、共同研究・共同事業を創生) ②若手交流会
つくば市 : つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム (国内外からの人材・資金・企業等獲得)
TCI : ①創業支援 (情報提供、創業について短期スクール) ②資金調達支援 (VC向けピッチ会、補助金助成金の獲得支援) ③イノベーションマッチング (大企業・VCとのマッチング)

2. 柏の葉エリア

アジア・アントレプレナーシップ・アワード運営委員会 : AEA (アジアの技術系スタートアップによるビジョン)
NCC・UTEK・Beyond Next Ventures : NCC Venture Incubation Program (臨床開発・事業開発・薬事・経営に関するコンサルテーション)
三井不動産・柏市 : KOILスタートアッププログラム (ビジネスプラン作成セミナー、個別メンタリング、実証相談)
柏市・TXアントレプレナーパートナーズ : スタートアップ・コンシェルジュ事業 (ビジネスモデルのブラッシュアップや経営支援、ビジネスマッチング等)

3. HOTS HILL

TIP : Innovation Idea Contest (シーズを新時代の医療・健康に繋げるアイデアコンテスト)
東京大学 : ①FoundX (アイデアから資金調達まで起業の初期を様々なプログラムと個室提供でサポート) ②東京大学バイオデザイン (プロジェクトベースでシーズの探索から事業化まで一気通貫の教育プログラム)
東大IPC : 1stRound (資金およびハンズオン支援、海外アクセラレーションへの連携)
Beyond Next Ventures : BRAVE (人材マッチングを通じて創業チームの強化と、起業家・投資家によるメンタリングを通じて資金獲得の支援)
PLUG and PLAY JAPAN : Plug and Playプログラム (SUの顧客獲得、資金調達、事業成長に向けた伴走支援、海外展開支援、大手企業との協業支援、各業界のKOLによるメンタリング)

4. 日本橋エリア

INDEE Japan : ̄-DOJO (500~1000万円のシード出資、4カ月間の教育プログラム、KOLによるメンタリング)
Beyond Next Ventures : BRAVE (人材マッチング、最大1,000万円の資金提供、助成金の獲得支援、投資家・起業家からのメンタリングや事業会社とのマッチング)
DCIパートナーズ : ベンチャークリエーション投資 (有望な医薬候補品への投資、ファンド主導で会社を設立、開発・薬事・知財・事業開発・海外展開を推進)
国立がん研究センター : センター発ベンチャー認定制度 (シーズ開発の支援)
LINK-J : Out of Box 相談室 (製薬企業、ベンチャーキャピタル、コンサルタントなどとの実用化に向けた相談)

5. 川崎エリア

K-NIC : ①起業・事業相談 (経営、マーケティング、雇用、知財などの相談会) ②ビジネスマッチング (VCによるリバースピッチやメンターによる事業会社、金融機関とのマッチング)
iCOMN : iCOMN in collaboration with BioLabs (米国BioLabs社と連携してスタートアップの成長支援)
キングスカイフロント : 殿町コネクト (川崎市産業振興財団による支援)
RINK : 殿町を拠点とした再生・細胞医療等のネットワーク (バリューチェーンの構築・事業支援)
かながわサイエンスパーク (KSP) : 創業成長支援 (起業相談、投資ファンド・ビジネスマッチング等)

6. 横浜エリア

LIP横浜 : 海外展開・人材育成支援 (Biocom California(米・サンディエゴ)と提携、LIP.YOKOHAMA BIBLIOでのセミナー開催)
YOXO : 横浜市スタートアップ成長支援(YOXOイノベーションスクール、YOXOアクセラレータープログラム、横浜ベンチャーピッチ、YOXOマネジメントプログラム、YOXOスタートアップ相談窓口)
東京工業大学 : ①スタートアップエコシステム形成支援 (START)(大学からのシーズの実用化に向けてスタートアップ創出に一体的に取り組む)、②BRAVE(東工大とBeyond Next Ventureによる起業家支援の取り組み)、③アントレプレナーシップ教育機構(教育改革を進化させ、専門×教養×理工系アントレプレナーシップの全学教育を実施)

7. 湘南エリア

湘南アイパーク : ①iPark SAMURAI (法務、経理、知財、事業開発など幅広い分野での相談) ②Venture Mentoring Service (メンターがベンチャー企業に対して行う、育成プログラム。MIT-VMSの姉妹プログラムとして実施) ③Incubation Program (事業化のための資金、設備、ノウハウ、機会を提供する制度)

8. 千葉・かずさエリア

千葉県 : ①革新的ベンチャー企業成長促進プログラム事業 (専門家による助言、パートナー企業や投資家の紹介などの短期伴走支援) ②ちば起業家応援事業 (ビジネスコンテスト、交流会等の起業支援) ③オープンイノベーション交流会の開催 ※①~③は、「柏の葉エリア」を含む千葉県内全域対象
千葉大学 : 産学連携ジェトロデスク (海外展開支援)
NITE : ①DBRP (生物資源データプラットフォーム; 微生物情報の提供、マッチング支援) ②カルタヘナ法相談窓口 (鉱工業分野の第二種使用に関する相談対応)



② ベンチャー支援 創薬ベンチャーエコシステム強化事業 認定VC

(2023.4現在)



3. HOTS HILL

- FTI 株式会社ファストラックイニシアティブ
- DCIパートナーズ株式会社
- 東大IPC 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
- UTEC 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ

4. 日本橋エリア

- REMIGES Remiges Ventures, Inc.
- NEWTON BIOCAPITAL PARTNERS Newton Biocapital Partners
- MUFG 三菱UFJキャピタル株式会社

その他 東京圏

- CATALYS PACIFIC Catalys Pacific, LLC (港区)
- D3 LLC D3合同会社(D3LLC) (渋谷区)
- 8RD Eight Roads Capital Advisors Hong Kong Limited (港区)
- saisei Saisei Ventures LLC (品川区)
- JIC VENTURE JICベンチャー・グロース・インベストメンツ (港区)
- JAFCO ITS ジャフコグループ株式会社 (港区)

参考：支援総額
約3,500億円（国内）

*17 認定VCの内、13社が東京圏に拠点を有する



③ 生産設備 (2023.4現在) 国の補助金 約2,000億円

2. 柏の葉エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:(本社) Arcalis

3. HOTS HILL

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) VLPセラピューティクス ジャパン
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:(本社) 藤森工業

4. 日本橋エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) MeijiSeikaファルマ
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) 富士フィルム富山化学
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(東京事業所):タカラバイオ

6. 横浜エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:AGC

7. 湘南エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
エリクサジェン・サイエンティフィック・ジャパン

8. 千葉・かずさエリア

- NEDO バイオファウンドリ「生産実証プラットフォーム」:GEI
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:ヤマサ醤油 (銚子市)
- NEDO GI基金「バイオエタノール由来のSAF (持続可能な航空燃料) 製造実証設備の開発と展開」: 出光興産

その他 東京圏

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
第一三共, 第一三共バイオテック (北本市)
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) 藤倉コンポジット (江東区)
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) ロキテクノ (品川区)



*17 認定 バイオ医薬品製造拠点の内、
12が東京圏に製造拠点・本社機能を有する

④ 民間投資 トピックス (2021.4~2023.7) 総額 > 約5,000億円/約2年

1. つくばエリア

1. エーザイが筑波研究所グランドデザイン改修 (85億円)
2. プロロジスが西部工業団地敷地内にインキュベーション施設を併設した物流施設を建設 (金額非開示)
3. 日清食品がつくばみらい市に製造工場用地取得 (130億円)

> 215億円

2. 柏の葉エリア

1. 帝人が再生医療等製品のCDMOを設置 (金額非開示)
2. アステラスが癌微小環境オープンイノベーション拠点開設 (金額非開示)
3. H.U.グループ中央研究所がオープンイノベーション拠点開設 (金額非開示)
4. 三井不動産が賃貸ラボ&オフィスを建設 (金額非開示)
5. 三井不動産が病院連携ホテルをがん研究センター東病院敷地内に建設 (金額非開示)
6. SMCが柏の葉キャンパス新技術センターを新設 (金額非開示)

> 150億円

3. HOTS HILL

1. 東京大学とクボタが、産学協創協定を締結 (10年間で100億円)
2. Green Earth InstituteがIPO (116億円)
3. サイフーズがIPO (123億円)
4. オリシロジェノミクスがモデルナにM&A (\$85M)

451億円

4. 日本橋エリア

1. 三井不動産が三井リンクラボ新木場2を開設 (金額非開示)
2. 三井不動産が(仮称)三井リンクラボ新木場3を建設 (2024年秋竣工、金額非開示)
3. Repertoire GenesisをユーロフィンがM&A (金額非開示)
4. Bolt MedicalをメディキットがM&A (金額非開示)
5. ペルセウスプロテオミクスがIPO (101億円)
6. レナサイエンスがIPO (101億円)
7. サスメドがIPO (283億円)
8. クオリプスがIPO (99億円)
9. 資金調達 (5億円以上) 14社総額255億円

> 1,138億円

5. 川崎エリア

1. ペプチドリームがキングスカイフロント内に研究所を新設予定 (195億円)
2. 島津製作所がキングスカイフロントに「Shimadzu Tokyo Innovation Plaza」を開設 (20億円)
3. 藤田医科大学がHiCityに「藤田医科大学東京先端医療研究センター」を開設予定 (金額非開示)

> 215億円

- ・ (注) 現状、多様な投資を記載しています
- ・ 2022年平均為替で換算 \$1=¥131.52

6. 横浜エリア

1. 中外製薬が研究所を新設 (1,700億円)
2. ユニバレオが研究所を新設 (119億円)
3. レゾナックが研究所を新設 (64億円)
4. フーバートナースが賃貸ラボを新設 (総額15億円、内R&D関連額2.2億円)
5. AGCがAGC横浜テニカルセンターにバイオ医薬品製造設備導入予定 (数百億円)

> 1,898億円

7. 湘南エリア

1. 高砂香料工業が旧中外製薬鎌倉研究所跡地を取得 (金額非開示)
2. Chordiaが資金調達 (\$71.0M)
3. PRISMが資金調達 (\$43.2M)
4. Fimecsが資金調達 (\$26.1M)
5. Reborna Biosciencesが資金調達 (\$13.2M)
6. Orizuru Therapeuticsが資金調達 (\$10.3M)
7. GexValが資金調達 (\$9.9M)
8. SEEDSUPPLYが資金調達 (\$1.4M)
9. GenAhead Bioが資金調達 (\$1.2M)
10. Noile-Immune BiotechがIPO (220億円)

> 452億円

8. 千葉・かずさエリア

1. 千葉大発スタートアップが資金調達 (複数の合算) (30億円)
2. Green Earth Instituteが木更津市に「サテライト研究所」稼働 (金額非開示)、茂原市に「バイオファンダリー研究所」を建設 (金額非開示)
3. 出光興産がバイオ由来原料によるSAF製造装置を建設予定 (457億円)

> 487億円

その他 東京圏

- 日本凍結乾燥研究所が体外診断用医薬品製造開発拠点の立地決定 (金額非開示) (埼玉県鶴ヶ島市)
- 東ソーが研究所を新設予定 (72億円) (神奈川県綾瀬市)

> 72億円



GTB公式ホームページ

<https://gtb.jba.or.jp/>



日本語



トピックス



認定バイオ医薬品製造拠点を12拠点が東京圏に集積
2023年8月29日 | ニュース
半導体企業の記事に応じたバイオ医薬品製造拠点を調査し、製造拠点を...



東京圏への民間投資が5000億円に到達
2023年8月29日 | ニュース
GTBの調査により、GTB圏の民間投資トピックスをまとめた。GTB圏全...

GTB圏内の「**規模ファクト資料**」
「**バイオイノベーション推進機関**
(8拠点)の資料」ほか、タイム
リーに情報を発信しています

英語



Topics



Private investment in the Tokyo region reaches JPY 500 billion
2023年8月29日 | News
A GTB survey compiled a list of private investment topics for each GTB bio-innovation promotion centre. It found that the total amount for the...



Certified biopharmaceutical manufacturing sites are concentrated in the Tokyo area
2023年8月29日 | News
The JBA survey found that 12 of the 17 certified biopharmaceutical manufacturing sites have manufacturing and head office functions in the...

X (旧Twitter)

<https://twitter.com/TokyoGreater>

GTBの活動周知ツールです。GTB
参画機関のイベント等の情報も流し
ています。是非フォローお願いします。



GTB

プロフィールを編集

Greater Tokyo Biocommunity (GTB)

@TokyoGreater

東京圏におけるバイオ産業の産学官ネットワークです。バイオインダストリー協会が事務局を務めています。GTB is an industry-academia-government network for the biotechnology industry in greater Tokyo area.

📍 Tokyo 🌐 note.com/gtb_com/ 📅 2021年6月からTwitterを利用しています

47 フォロウ中 238 フォロワー

インキュベーション施設情報の公開

- GTBホームページに掲載しています
- ✓ GTB圏内においてベンチャー企業が入居できる施設
 - ✓ P2, BSL2等の実験室レベル表記あり
 - ✓ 英語版もあり

<https://gtb.jba.or.jp/gtb-resource/>

GTBエリア内 インキュベーションセンター リスト								
GTB拠点エリア	インキュベーション機能・施設	想定ユーザー (pre-startup, startup, scale-up site)	施設総面積 (平米)	Waterの付帯 (office) の場合は有	バイオ入居可能数	バイオ現入居	実験室レベル	
1 つばエリア	(株)つくば研究支援センター(TCI)	pre-startup, startup, scale-up	11,200	有	78	9	P2	実験設備や器
	つくば創業プラザ Start Up Office	pre-startup, startup ※設立5年未済	265	無	オフィス6室	0	-	
	つくばスタートアップパーク	pre-startup, startup ※設立5年未済	1,852	無	オフィス6室 コワーキング棟24棟	1	-	
2 柏の葉エリア	東葛テクノプラザ	pre-startup, startup	11,881	バイオ系 相様可	36	13	BSL1	試験機器の貸 借と試験の実
	東大柏ベンチャープラザ	pre-startup, startup, scale-up	2,856	有	32	6	BSL2	
	東京大学柏IIアントレプレナーラボ (産学官民連携 連携レンタルラボ)	startup (東大関連のみ入居可)	1,825	有	12	12	BSL2	
	三井リンクラボ柏の葉1	pre-startup, startup, scale-up site	10,978	有	74	27	BSL2	カフェ、ラウンジ、 共用機器室検
	柏の葉オープンインノベーションラボ (KOIL)	pre-startup, startup, scale-up site	9,794	無 (オフィスのみ)	参考: 38区画	参考: 4区画	-	コワーキング、専
KOIL TERRACE	startup, scale-up site	11,715	無 (オフィスのみ)	参考: 28区画	参考: 5区画	-		
3 本郷・御茶ノ水・ 東京駅エリア	TIP (TMDU Innovation Park)	pre-startup, startup, scale-up site	664	有	15	5	P2	実験共用機器
	東京大学アントレプレナーラボ	pre-startup, startup (東大関連の み入居可)	3,816.39	有	26	26	2	館内に共用バ
	東京大学アントレプレナープラザ	startup (東大関連のみ入居可)	3,642.20	有	23	23	2	
4 日本橋エリア	日本橋ライフサイエンスビルシリーズ (15施設)	pre-startup, startup, scale-up site	18,575㎡ ※各施設の運用面積の合計	有	275	168	BSL2	シェアラボ、ラウ:
	三井リンクラボ新木場1	pre-startup, startup, scale-up site	11,169.77㎡ (約 3,379 坪) ※建物延床面積	有	70	66	BSL2	カフェ、ラウンジ、
	三井リンクラボ新木場2 (23年4月末竣工予 定)	pre-startup, startup, scale-up site	18,240㎡ (約5,517.60坪) ※建物延床面積	有	112	0	BSL2	共用機器室検 あり
	三井リンクラボ葛西	pre-startup, startup, scale-up site	2,248.71㎡ (約 690 坪) ※第一三協様の施設内にあるため、 当社レンタルスペースのみ記載	有	21	14	BSL2	ラウンジ、共用:
ライフイノベーションセンター (LIC)	pre-startup, startup, scale-up site	16,105.26 ㎡	有	-	満床	P2	遺伝子改変、 試験 (不可)	
	川崎生命科学・環境研究センター (LISE)	startup, scale-up site	約2,000㎡	有	6	6	BSL対応は 協議の上	

GTB圏内等で
民間投資が本格化するよう
活動してまいります